



始業式、入学式、卒業式、修了式など学校で行われる儀式では、必ず「校歌」を歌います。また、体育会や文化発表会などの大きな行事のときもです。中学校に入学して音楽の授業で最初に学ぶのは、「校歌」であることが多いと思います。そして、その時に校歌に込められた思いや願いなどを学んだことでしょう。ただ、なぜ、そのような節目や大切なときに「校歌」を歌うのか。なぜ、入学後すぐに校歌を学ぶのか。もちろん、自分の学校の歌だから、その学校の生徒みんなを一つにするための歌だから、これまでの歴史や伝統を引き継ぐための歌だからなどの理由があげられます。もちろんその通りなのですが、もっと違う意味もあるのではないのでしょうか。私は、その校歌を歌っている人たちが、自分たちの学校をどんな学校にしたいのかということを生きて表現すること、声にして伝え合うこと、分かち合うことでもあると思うのです。その気持ちを、声を通して感じ合うことで、互いのつながりに勇気づけられ、前に進む力になるように思います。大切な節目で、大切な行事で校歌を歌うことが、今その学校を創っている私たちが、どんな学校にしたいのかを分かち合うことにつながり、「自分の学校」を「みんなで」「つながって」進化させていくことになっていると感じるので



です。先日の卒業式で参加した太宰府西中みんなで「校歌」を歌ったとき、あらためてその素晴らしさとともに、令和7年度、今年一年の太宰府西中の成長を感じることができて、とてもうれしい気持ちになりました。

- 1 宝満山の 峰はるか
緑の風のそよぐ庭
いま向学の意気に燃え
真理の窓に夢寄せる
太宰府西中 ああわれら
- 2 理想の海へ ひとすじに
流れて清き 御笠川
自律のしらべ 高らかに
豊かな心 むすびあう
太宰府西中 ああわれら
- 3 歴史もゆかし ふるさとに
文化の花の 咲きかおる
試練を越えて たくましく
世紀の明日へ 巣立つもの
太宰府西中 ああわれら

卒業生194名の晴れやかな門出でした！

3月13日（金）たくさんのご来賓、保護者の皆様、そして代表生徒や吹奏楽部の皆さんが見守るなか、第41回卒業証書授与式が行われました。3年生の担任の先生の呼名に対して、体育館に響き渡る大きな声での返事から中学校3年間の集大成だという気持ちを感じることができました。卒業生代表の答辞や在校生代表の送辞の中には「成長」「尊敬」「感謝」「愛」「絆」「勇気」などが溢れんばかりに表現されていました。また、卒業生の「群青」の合唱。当たり前な奇跡、これまで育ててきた友情の強さ、これからもつながり続ける心。大きく豊かで決意に満ちた歌声は、体育館にいた参加者の心を強く揺さぶり、感動的な時間でした。太宰府西中での「出会い」をこれからの力に変えていってほしい。卒業生194名の輝かしい未来に幸多からんことを心から祈っています。



令和8年度生徒会スローガン「最高到達点～仲間を思いやり、共に駆け上がろう～」に決定！



3月18日（水）に、生徒総会がありました。体育館に全体が集まり提案に対する率直な質問や意見を出したり、もっと前向きに取組を活性化できるような改善案を出したりする姿から、これまで第40期生徒会からバトンをつなぎ、さらに発展させていこうとする気持ちを感じることができました。令和8年度の生徒会スローガンは「最高到達点～仲間を思いやり、共に駆け上がろう」です。「もっと笑顔あふれる学校にしたい」「もっと互いのよさを磨き合いたい」「それぞれの個性を集めて、生徒全員で高めていきたい」「生徒全員で目標に向かって駆け上がりたい」

「その次もさらに高い到達点を目指し続けたい」。たくさんの思いが込められたスローガンです。生徒全員で必ず前進していくのだという決意を感じた貴重な時間でした。令和8年度のスタートが待ち遠しいです。